

会 議 録

1 会議名

平成31年度第1回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

平成31年度地域活動支援事業のヒアリング（公開）

3 開催日時

平成31年4月27日（土）午前8時30分から午後1時00分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：丸山進（会長）、西山新平（副会長）、飯田秀治、五十嵐正則、折笠弘志、
金井貞子、佐藤祐子、清水薫、難波一仁、前山美智弘、渡辺喜一

・事務局：牧区総合事務所 山岸所長、岩野次長、宮腰グループ長、丸山班長、横田
主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【岩野次長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【丸山会長】

- ・挨拶。
- ・所長に挨拶を求める。

【山岸所長】

- ・挨拶。

【丸山会長】

- ・本日の流れについて、事務局に説明を求める。

【丸山班長】

－資料により説明－

【丸山会長】

- ・本日のヒアリング及び審査方法等について質疑を求める。

【前山委員】

- ・判定をバツとした場合は、その理由を記載しなければならないが、審査時間に限りがあるため、時間内に明確な理由が記載できない場合が想定される。判定がバツで理由が記載されていない審査票はバツとして認められるのか。

【山岸所長】

- ・審査はバツとして認めるが、提案者に説明できるよう整理しておく必要がある。時間内に記載できなかった場合は、後日、記載後に提出する方法もある。

【前山委員】

- ・時間的な問題で理由が記載できなかった場合は、後日、記載後に提出するとの方法を取るべきではないか。

【丸山会長】

- ・前山委員の発言のとおり、我々は責任を持って審査を行わなければならない。特に、不採択となった事業については、提案者へ明確に理由を説明しなければならない。審査票の集計結果により不採択となった事業について、判定理由が時間内に記載できなかった委員は、後日、記載後に提出してもらうことでどうか。

(賛成の声多数)

- ・ほかに質疑を求めるもなし。
- ・会議録の確認：飯田委員に依頼
- ・これよりヒアリングを開始することとし、支援事業提案者の入室を求める。
－提案者に対し、説明と委員からの質問を含めて10分を予定しているので、説明及び回答は簡潔に願います。また、多くの事業が採択される場合などは、希望どおりの補助金額とならない場合があることを説明する。(以下、提案者全員に上記内容について、丸山会長が説明した後に、提案者の説明を受ける)－

- ・ 1 番の事業提案者に説明を求める。

【提案者 1】

- ・ 「サマーナイトイベント開催事業」について、提案書により説明。

【丸山会長】

- ・ 委員から質問を求める。

【飯田委員】

- ・ 当該事業については、昔まであった地区の夏まつりに代わるものであり、地域を盛り上げてくれていることに住民として感謝している。今回は多数の団体から提案書が提出されているため、採択されても希望どおりの補助金額とならない場合が考えられる。高額な出費を伴うと思うが、補助金が減額されたことを理由に事業を実施しないということはないのか。

【提案者 1】

- ・ この場において事務局の一存で決めることはできないが、イルミネーションについては既に中学校と話を進めており、何とか実施したい考えである。補助金が減額されても規模を縮小して対応するなど、前向きに進めていきたい。

【清水委員】

- ・ 中学生が行うイルミネーションは一日限りか。それとも、期間中に使用するのか。

【提案者 1】

- ・ ロウソクを使用しているため、一日限りの予定である。1 か月間点灯するジャンボツリーに併せて実施できるよう、今後、中学校と協議していく。

【西山副会長】

- ・ ジャンボツリー事業は、振興会への依頼事業ではないのか。

【提案者 1】

- ・ おっしゃるとおり、書面上は振興会が受けている事業であるが、当初から振興会より補助を受けて商工会青年部が設置等を行っている。

【西山副会長】

- ・ 振興会からの補助金があるということでよいか。

【提案者 1】

- ・ そのとおりである。

【西山副会長】

- ・提案書に補助金についての記載がないため、内訳がわからない。

【提案者1】

- ・振興会からの補助金は、冬の設置に係る部分のみであり、今回は夏の設置部分となるため、重複はしていない。

【丸山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、1番の事業については終了する。
- ・2番の事業提案者に説明を求める。

【提案者2】

- ・「原地区集落ネットワーク圏都市交流活性化事業」について、提案書により説明。

【丸山会長】

- ・委員から質問を求める。

【清水委員】

- ・ボランティアに対する謝礼について、内訳はどのようなものか。

【提案者2】

- ・協力隊が女性であるため、宿泊施設を深山荘としており、市が有償ボランティアの宿泊時に支払う額と同一の5千円を計上した。

【佐藤委員】

- ・昨年開催した「そばまつり」に参加し売店を出店した。そばは白峰のそば組合に一括発注したものを使用していた。会場には大学生や各町内会の役員数名が応援に来ており、来場者の接客を行っている一方、地元住民はチケットを購入してお客として会場に来ていた。原地区が独自に開催している山菜まつりのように、地域住民が一緒になって汗を流し参加できるようにするべきではないか。もっと地元住民を活用し、来てもらった大学生に集落へ入ってもらい、まつりに参加できない集落の実情や何のために原地区ネットワークという組織があるのか等について調査を実施するなど、ただ「そばまつり」の応援をしてもらうのではなく、もっと違った分野でお願いするべきと考える。役員の方々は頑張っているが、地元住民の参加が少なく熱意や盛り上がりが少ない気がする。理想はあると思うが、地域が一体となって取り組む必要があると思うが、これらについてどのように考えているのか。

【提案者 2】

- ・「そばまつり」に関しては、おっしゃるとおりである。現在は、そばの実の栽培から収穫等を地域住民で行えるよう、そば畑を作る計画を立てており、参加意欲のある町内会を募集するなど、意識の高揚を図っているところである。

【丸山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、2番の事業については終了する。
- ・3番の事業提案者に説明を求める。

【提案者 3】

- ・「小川公園新設事業」について、提案書により説明。

【丸山会長】

- ・委員から質問を求める。

【渡辺委員】

- ・事業実施場所は具体的にどこか。

【提案者 3】

- ・国道405号線から事業実施場所までの経路を説明。

【佐藤委員】

- ・当該事業は単年度事業または継続事業のどちらか。

【提案者 3】

- ・補助金が希望どおりに配分されれば単年度事業となる。車いすを利用する方々のためにコンクリート舗装を実施したいと考えており、補助金が減額された場合は、継続事業として実施したい。

【清水委員】

- ・今年度は提案団体が多く、牧区の予算を大きく超えている状況である。次年度以降の実施にできないか。

【提案者 3】

- ・町内会の実施意欲が強い今年度に実施したい。

【西山副会長】

- ・不採択となった場合、町内会事業として取り組む予定はあるか。

【提案者 3】

- ・木の伐採等、可能な範囲で実施する予定である。

【丸山会長】

- ・集落の活性化を目標としたすばらしい提案だと思うが、小川集落から徒歩圏内に牧公園があるにも関わらず、新たに公園を整備することとしている。公園整備後の維持管理は大変な作業となるが、町内会において十分に考慮されているか。

【提案者 3】

- ・事業実施予定の場所は、牧公園より景観が優れている。公園を新設することで、景観の素晴らしさを伝え、牧区のPRをしていきたい。

【丸山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、3番の事業については終了する。
- ・4番の事業提案者に説明を求める。

【提案者 4】

- ・「いきいき健康づくり体操普及事業」について、提案書により説明。

【丸山会長】

- ・委員から質問を求める。

【渡辺委員】

- ・支出にある講師への謝金が34回となっているが、どのようなものか。

【提案者 4】

- ・今年の4月から来年3月までの年間の回数である。7月開催の夢まつりで披露するため、5月と6月に集中して講座を開催する予定である。

【渡辺委員】

- ・7月以降の講座は、ダンスサークルの会員のみを対象としたものになるのか。

【提案者 4】

- ・そのとおりである。収入を見ればわかると思うが、事業費31万円に対し、自分たちが指導を受ける部分は自主財源21万円を充てている。

【丸山会長】

- ・他の提案事業は、事業費のほとんどを補助金としている。このため、減額して採択された場合、本当に事業が実施されるか心配だが、本提案は自主財源を活用し、予算不足について補助金を充てるといった構成であり、大変素晴らしいと思う。

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、4番の事業については終了する。
- ・5番の事業提案者に説明を求める。

【提案者5】

- ・「屋号を活かし、地域を活性化させる事業」について、提案書により説明。

【丸山会長】

- ・委員から質問を求める。

【清水委員】

- ・移住により空き家を利用して住んでいる方々で、当該事業を活用した例はあるか。

【提案者5】

- ・前の住居人の屋号を継承して、当該事業を活用した実績が数件ある。

【西山副会長】

- ・今後、申込みがなかった方から屋号を作ってもらいたいとの希望があった場合、対応は可能か。

【提案者5】

- ・数件のために、地域活動支援事業を申請するのは難しいと思う。希望者を取りまとめた結果、多くの申込みがあれば申請を考えるが、現段階では未定である。

【飯田委員】

- ・町内によっては同じ苗字が複数あるため、屋号で呼び合っている。若い世代との価値観の相違はあるが、屋号は歴史的にも重要である。現在は達成率が約40パーセントとのことであるが、是非、70パーセント以上を目指して頑張ってもらいたい。

【提案者5】

- ・各町内会長を経由して希望者を募っている。町内会長が会議で説明しても、各世帯で共有されず、当該事業の実施を知らなかったとの意見が寄せられる。周知に限界があるが、引き続き取り組んでいく。

【佐藤委員】

- ・屋号には歴史がある。何故、このような名前が付けられたのか等を考えながら散策するのも非常に楽しい。1人暮らしの高齢者も含め、屋号に誇りを持って生活してもらいたい。

【丸山会長】

- ・長期間の取り組みになるが、是非、当該事業の振り返りを行ってもらい、事業成果や課題等について、各町内会へ周知してもらいたい。また、先ほど西山副会長からも意見があったが、申し込み期限後の希望者についても、対応を検討してもらいたい。
- ・ほかに質問を求めるがなかったため、事業No. 5については終了する。
- ・6番の事業提案者に説明を求める。

【提案者6】

- ・「地域交流、歴史、番所を活かした教育広場事業」について、提案書により説明。

【丸山会長】

- ・委員から質問を求める。

【清水委員】

- ・子ども達等の見学者に対し、誰が説明を行うのか。

【提案者6】

- ・教育委員会等と協力し対応する予定であり、番所、関所、塩の作り方等について説明していく。

【佐藤委員】

- ・イベント用の拡声装置について、事業実施場所にて常に歴史的な案内を流しているのか、それとも見学者が来た時に使用するのか。

【提案者6】

- ・一方的に同じ内容の説明を流しているのでは、見学者が飽きてしまう。見学会に出席できない講師の声を流すなど、子ども達の勉強に役立てていきたい。

【丸山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、6番の事業については終了する。
- ・7番の事業提案者に説明を求める。

【提案者7】

- ・『うたって・おどって・みて』楽しい暮らしを応援事業」について、提案書により説明。

【丸山会長】

- ・委員から質問を求める。

【清水委員】

- ・当該事業をとおして、子ども達や若い方のふるさと学習に寄与したいとのことだが、牧区を対象とするのか、またはマスコミ等を含む対外的なものを対象としているのか。

【提案者7】

- ・採択された場合、5月に花嫁及び花婿の募集チラシを配布する。人材確保は牧区内で対応したいと考えているが、地域外への歴史・文化の発信も重要である。このため、マスコミ等への協力依頼も検討している。

【丸山会長】

- ・出演者への謝礼について、出演者は希望された方々であるため、ボランティアとするか、または粗品で対応することで経費削減に繋がると思う。是非、検討をお願いする。

【提案者7】

- ・出演者には、リハーサル等を含め3回以上の練習に参加してもらうことになるため、ボランティアとすることは難しい。他の項目で節約に努めていきたい。

【丸山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、7番の事業については終了する。
- ・8番の事業提案者に説明を求める。

【提案者8】

- ・「地域づくり活性化事業」について、提案書により説明。

【丸山会長】

- ・委員から質問を求める。

【五十嵐委員】

- ・ワークショップについて、募集人数が20名となっている。次年度以降、参加したこの20名を対象とした事業の実施計画はあるか。

【提案者8】

- ・募集人数は20名としているが、協力してもらえる方々を募集し、次年度以降に参加者を中心として事業化できるものがあれば検討していく。

【飯田委員】

- ・20年後も幸せに暮らせる地域を目指すため、高齢者ばかりが参加するのではなく、日程の調整等を行い若い方々にも参加してもらえるよう計画し取り組んでもらいたい。

【飯田委員】

- ・講師料について、合計金額が内訳と合致していない。

【提案者 8】

- ・内訳の単価が税抜となっているためであり、この場にて修正をさせてもらう。

【清水委員】

- ・6月から講座を開催する予定としているが、参加者をどのように集めるのか。事前に勉強会等を開催し関心を高めた後、参加者を集める方法もあると思うが、どのように考えているか。

【提案者 8】

- ・誰もが自由に参加し気軽に発言できる環境で勉強会を実施したいと考えているため、各種団体等を含め募集チラシを配布し参加者を募集する。

【五十嵐会長】

- ・講師について、実績等の説明をお願いします。

【提案者 8】

- ・NPOくびき野にて講師を務めている方である。

【丸山会長】

- ・本提案事業は素晴らしいと思う。目的を定めたくえで勉強会を実施し、ただの話し合いで終わらないよう取り組んでもらいたい。また、講師料として、約40万円もの金額を計上している。今回限りの勉強会とせず、次年度以降にどのように繋げていくのかを事務局にて十分に協議し進めていただきたいと思う。
- ・ほかに質問を求めるがなかったため、8番の事業については終了する。
- ・9番の事業提案者に説明を求める。

【提案者 9】

- ・「地域の活性化促進事業」について、提案書により説明。

【丸山会長】

- ・委員から質問を求める。

【飯田委員】

- ・茶菓子について、価格の問題もあると思うが、区内の商工会をとおして購入するなど、地元貢献できないか。

【提案者 9】

- ・次年度以降に反映できるよう取り組む。

【金井委員】

- ・イルミネーションについて、前は川上地区で今回は白峰地区での実施となっているが、容易に取り付けられるのか。

【提案者 9】

- ・年度ごとに提案書を各地区が持ち回りで作成しており、作成者によって表現が異なるが、実施内容に大きな変更はない。

【佐藤委員】

- ・竹灯籠とは、型に切った竹の中に蠟燭を入れるものでよいか。

【提案者 9】

- ・そのとおりである。牧地区に設置するもので、竹を20本ほど使用する。また、竹灯籠の上に雪灯籠を組んで蠟燭の明かりを照らす仕組みとする。

【丸山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、9番の事業については終了する。
- ・10番の事業提案者に説明を求める。

【提案者 10】

- ・「牧剣友会発足35周年記念交流剣道事業」について、提案書により説明。

【丸山会長】

- ・委員から質問を求める。

【渡辺委員】

- ・このような剣道大会は、毎年他のクラブ等で実施されているのか。また、どの地域を対象に参加者を募集するのか。

【提案者 10】

- ・牧剣友会独自の活動であり、毎年実施しているものではないが、発足30周年の際、本事業を活用して今回と同等の記念大会を開催した実績がある。また、参加者については、上越一円を対象に参加者を募集する予定であるが、関係者と連絡が取れば、広く市外の方々にも声掛けをしていく。

【飯田委員】

- ・今ほどの説明の中で、「少子化に伴いクラブの存続がいつまで続くかわからない」との話がされた。貴クラブは、過去にも本事業を活用した補助金で備品を購入するなど、様々な活動を実施してきた経緯がある。今回提案の記念大会についても素晴らしいと思うが、実施後もクラブが存続できるよう、役員や保護者の方々と協力しながら取り組んでもらいたい。

【提案者10】

- ・委員がおっしゃるとおりである。今後も、各団体等と協力し取り組んでいく。

【清水委員】

- ・参加選手80名に対し、手ぬぐいが200枚、参加者損害保険が200人分とあるが、整合性が取れているのか。

【提案者10】

- ・提案書の作成者が同席していないため、保険についてはこの場で明確に説明することができない。改めて確認することとしたい。手ぬぐいについては、参加された先生方や、来場者に記念品として配布したいと考えている。

【丸山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、10番の事業については終了する。
- ・11番の事業提案者に説明を求める。

【提案者11】

- ・「川上 山里の風事業」について、提案書により説明。

【丸山会長】

- ・委員から質問を求める。

【清水委員】

- ・補助金希望額が高額であるが、整備した後の使用頻度はどれ位か。

【提案者11】

- ・様々な場面で使用することとなるため、ステージ幕は取り付けたいと考えている。

【飯田委員】

- ・他の提案団体になるが、牧文化協会が7月に「夢まつり」の開催を予定している。本提案のコンサートも7月の開催を予定しており時期が重なるが、支障はないのか。

【提案者11】

- ・委員ご指摘のとおり「夢まつり」の次の日にコンサートを開催する予定となっている。
このため、コンサートの開催時刻を夕方にするなど、来場者に来てもらえるよう対応していく。

【渡辺委員】

- ・去年は文化会館でコンサートを開催したと思うが、今回も同様の扱いか。

【提案者 1 1】

- ・去年のコンサートは文化会館が主催したものであり、今回とは異なる。

【丸山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、11番の事業については終了する。
- ・12番の事業提案者に説明を求める。

【提案者 1 2】

- ・「沖見地区観光拠点づくり事業」について、提案書により説明。

【丸山会長】

- ・委員から質問を求める。

【清水委員】

- ・遊歩道の整備とは、山側に向かって整備するということか。また、バックホーを使用する理由は何か。

【提案者 1 2】

- ・山側に向かって遊歩道を整備していく。また、今回は、花畑を見下ろすことができる展望台を整備する計画としており、バックホーを使用して整地する。

【渡辺委員】

- ・整備する土地は市有地か。また、使用許可は得ているのか。

【提案者 1 2】

- ・畑については個人が所有する土地で、山側は市有地である。各土地所有者から使用許可を得ている。

【丸山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、12番の事業については終了する。
- ・13番の事業提案者に説明を求める。

【提案者 1 3】

- ・「クロスカントリースキー活動情報及び安全インフラ整備事業」について、提案書により説明。

【丸山会長】

- ・委員から質問を求める。

【難波委員】

- ・クラブの構成員28名の内訳について、説明願いたい。

【提案者13】

- ・選手が18名、他に会長及び会計、事務局で構成している。

【難波委員】

- ・スキーをとおして健全育成を図ることは素晴らしいと思うが、少子化等によりクラブへ所属する子ども達が年々少なくなっている。他のクラブと連携するなど、存続に向けて取り組んでもらいたい。

【提案者13】

- ・先般、スキー以外となる室内での体育教室を開催して参加者の募集を行ったところである。また、今後の予定として、「かけっこ教室」を開催する。クラブとして、牧区に住む子ども達全員を対象に、運動の楽しさ等を伝える活動を行っていく。

【西山副会長】

- ・牧区内の学校と連携するなど、クラブが存続できるよう取り組んでもらいたい。

【渡辺委員】

- ・支出内訳が備品購入のみとなっているが、希望補助金額に対して減額となった場合、どうするのか。

【提案者13】

- ・予算不足については、結果が通知され次第、役員及び保護者と協議して対応を検討していく。

【丸山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、13番の事業については終了する。
- ・14番の事業提案者に説明を求める。

【提案者14】

- ・「棚広新田魅力発見事業」について、提案書により説明。

【丸山会長】

- ・委員から質問を求める。

【西山副会長】

- ・集落の方々の協力があつて実施できる事業であり、是非、開催してもらいたい。

【提案者14】

- ・集落外の方々にも声掛けを行い、事業を実施したいと考えている。

【清水委員】

- ・額縁とはどのようなものか

【提案者14】

- ・木枠のみであり、そこから自然の風景をみることで景観を楽しんでもらう。

【丸山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、14番の事業については終了する。
- ・15番の事業提案者に説明を求める。

【提案者15】

- ・「上越市牧区老人クラブ連合会創立50周年記念事業」について、提案書により説明。

【丸山会長】

- ・委員から質問を求める。

【佐藤委員】

- ・講演者は決定しているのか。

【提案者15】

- ・既に、昨年から横澤氏へ依頼して協議を進めているところである。講演内容については、「家族とのコミュニケーションの取り方等」を予定している。

【渡辺委員】

- ・自主財源を活用して実施できないのか。

【提案者15】

- ・歳入の内訳は、そのほとんどが市からの2事業に対する請負費であり、1つはシニアスポーツ大会、もう1つはゲートボール大会である。当会独自の継続事業もあり、今回提案した事業費を賄うのは困難である。

【難波委員】

- ・活動分野にある「子どもの健全育成を図る活動」について、子どもとどのような関わりがあるのか。

【提案者15】

- ・シニアスポーツ大会等において、子ども達に協力してもらう場を設け、コミュニケーションを図っている。また、毎年、牧保育園児と一緒にサツマイモの収穫等を実施しており、好評を得ている。

【丸山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、15番の事業については終了する。
- ・引き続き、事務局より、採択・不採択事業の結果について報告する。

【事務局】

- ・第1回審査票を集計したところ、採択が14事業、不採択が1事業、補助金希望額が総額8,323千円となった。不採択事業は、2番「原地区集落ネットワーク圏都市交流活性化事業」である。よって、傾斜配分により補助金配分額を決定する必要があることから、不採択事業以外の第2回の審査票に点数を記入し、5月8日までに提出していただきたい。

【丸山会長】

- ・この結果は5月14日の協議会で公表となる。
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線147）

E-mail：maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。